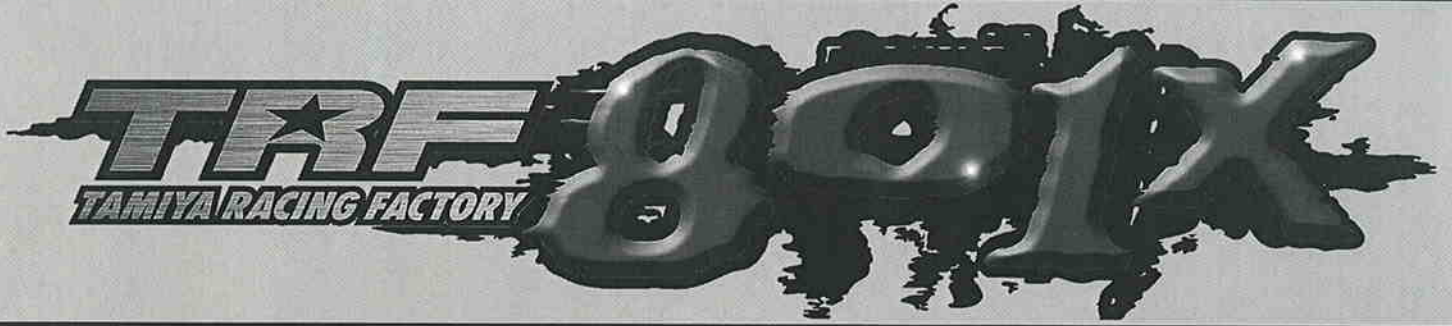


1/8 Scale Nitro Fuel Powered Radio Controlled Race Buggy Chassis Kit



Designed and Tested in the USA



●本キットは、タミヤ・アメリカ製品のため、組み立ては同梱のTRF801X 英文組立説明書を参照してください。補足部分、パーツリストはこの補足説明書に記載しています。

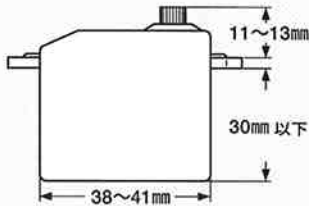
組み立てる前に用意する物

《ラジオコントロールメカ》

このRCカーには、エンジンカー用2チャンネル2サーボプロポセット (サーボトルク6.5kg-cm以上) をご使用ください。
★取り扱いについては、それぞれの説明書をご覧ください。

《使用できるサーボの大きさ》

★小型サーボは搭載出来ません。



《エンジン・マフラー》

21-28タイプエンジンが搭載可能です。マフラー、マニホールドと共にご用意ください。

《燃料とエンジン始動用品》

エンジン特性に合ったグロウエンジン用燃料、エンジンスターターボックスとエンジン始動用品と共にご用意ください。

《走行用タイヤ・ホイール》

1/8スケールバギー用タイヤ、17mmホイールハブ対応のホイールをご用意ください。

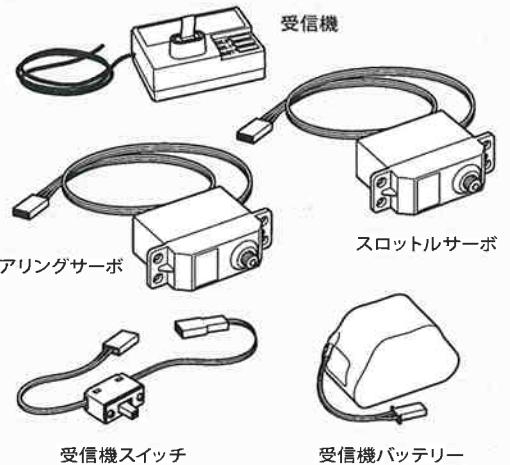
《ボディ塗装用塗料》

ポリカーネート用塗料をご用意ください。タミヤからはスプレー塗料、筆塗り塗料のほか各種塗装用品が発売されています。

エンジンカー用2チャンネル2サーボプロポセット (ハイトルクサーボ仕様)



送信機



受信機

ステアリングサーボ

スロットルサーボ

受信機スイッチ

受信機バッテリー

燃料・エンジン始動用品



エンジンスプレー



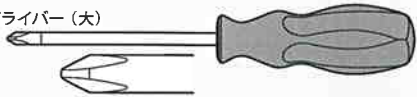
エアフィルターオイル

スターターボックス

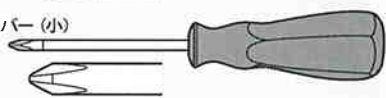


《用意する工具》

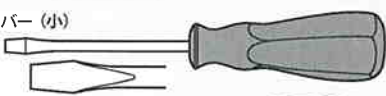
+ドライバー (大)



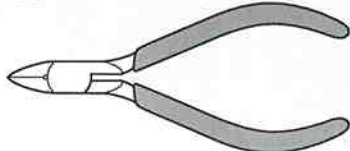
+ドライバー (小)



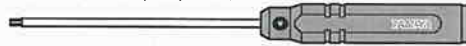
-ドライバー (小)



ニッパー



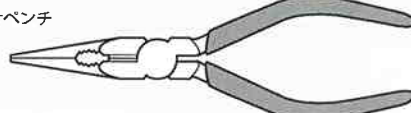
六角レンチ (1.5mm, 2mm, 2.5mm)



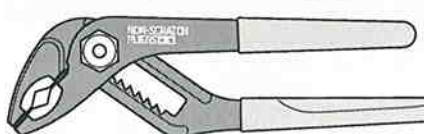
クラフトナイフ



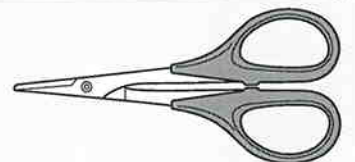
ラジオペンチ



ノンスクラッチプライヤー



はさみ



ピンセット



瞬間接着剤



合成ゴム系接着剤



★この他に、ピンバイスかキリ、エンジン調整用ドライバー、ネジ止め剤が必要です。また、柔らかい布、ヤスリ、Eリングセッターがあると便利です。



★お買い求めの際、また組み立ての前には必ず内容をお確かめください。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

★小さなビス、ナット類が多く、よく似た形の部品もあります。図をよく見てゆくり確実に組んでください。金具部品は少し多めに入っています。予備として使ってください。

このマークはグリスを塗る部分に指示しました。必ず、グリスアップして、組みこんでください。
このマークはネジロック剤を塗る部分に指示しました。少量をつまようじ等で塗って組み立ててください。

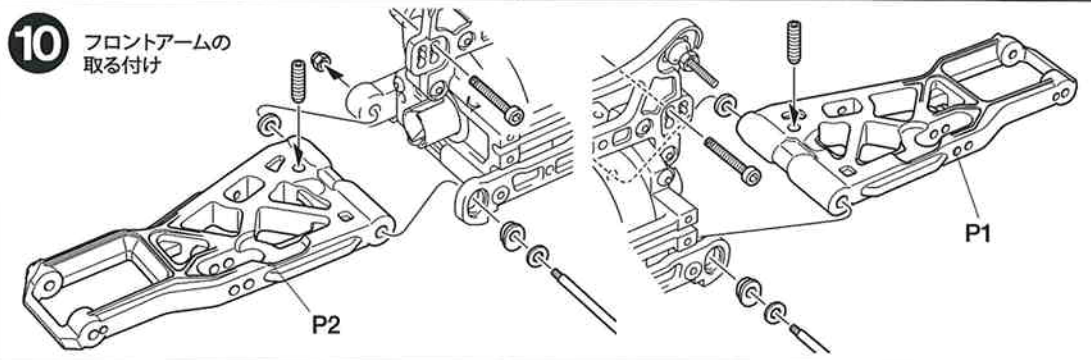
CAUTION

- 組み立てる前に説明図を必ずお読みください。また、保護者の方もお読みください。
- 小さなお子様のいる場所での工作はおやめください。小さな部品やビニール袋を口に入れたりする危険があります。
- 工具で固い物を切らないでください。刃が折れるなどの危険があります。
- 組み立てる時はまわりに注意してください。また、工具を振り回すようなことはやめてください。

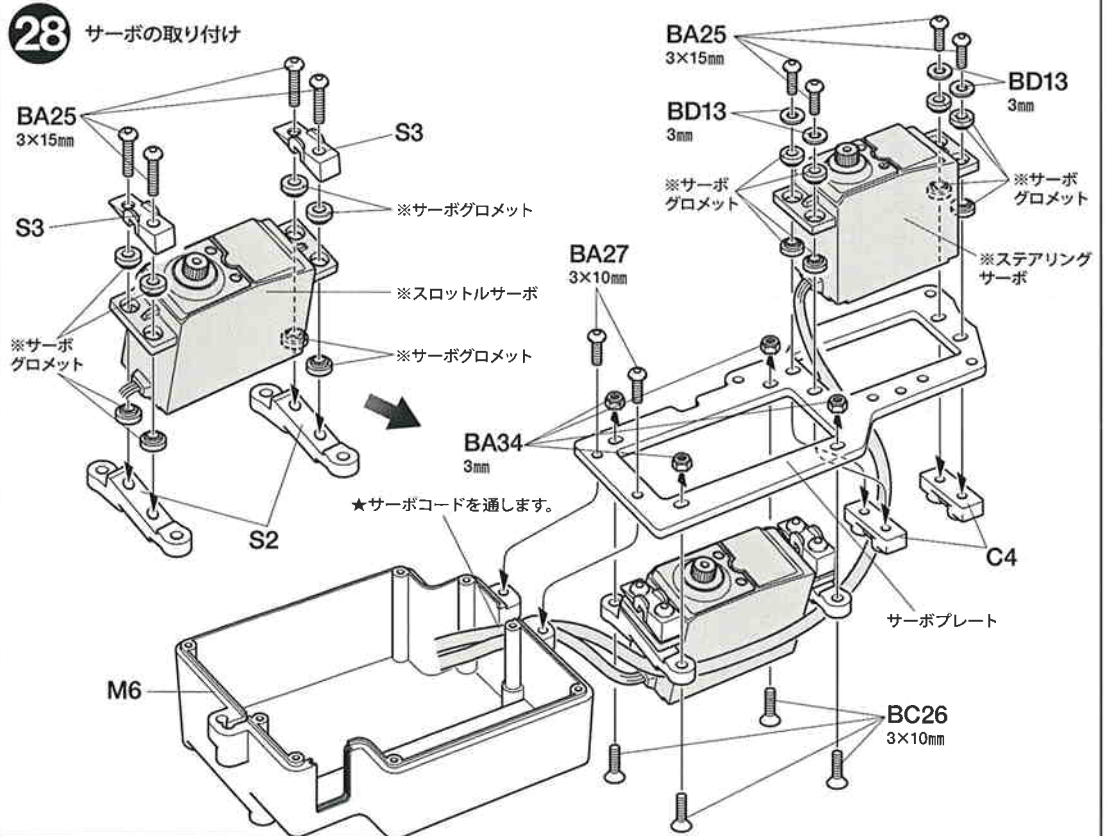
●下記はキット組み立て上で特に注意すべき点を表記しました。TRF801Xシャーシ組立説明書(英文)と合わせてご覧ください。

※の部品はキットには含まれていません。

10 フロントアームの取付け



28 サーボの取り付け

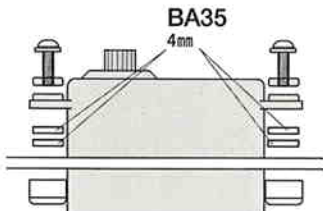


CAUTION!

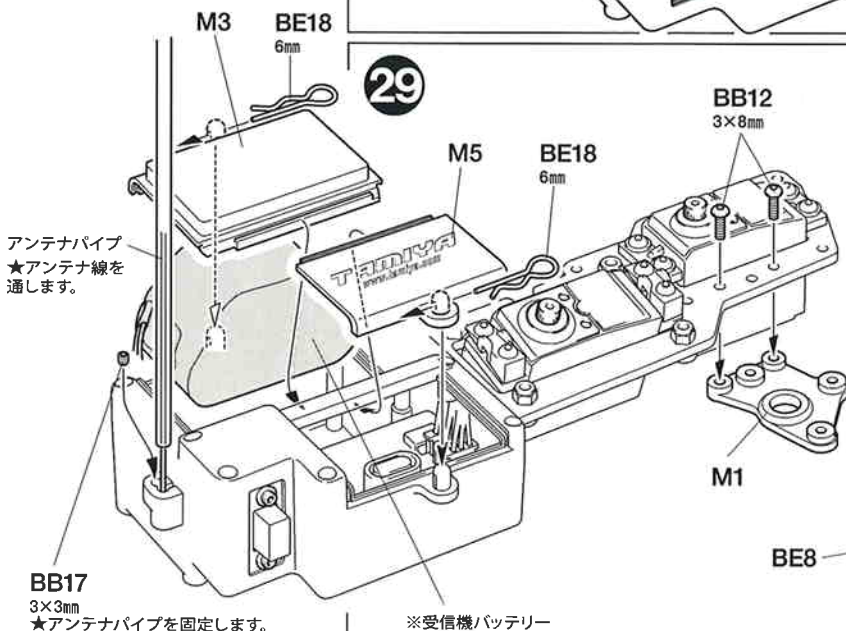
★搭載するRCメカ、エンジンによって、サーボの取り付け位置とスロットルリンケージの取り付け方法が変わります。取り付けの際にはリンケージがスムーズに動くようにしてください。

BA35 ×12
4mm ワッシャー

★サーボがシャーシに干渉する場合は、BA35(4mmワッシャー)でサーボの取り付け高さを調整してください。



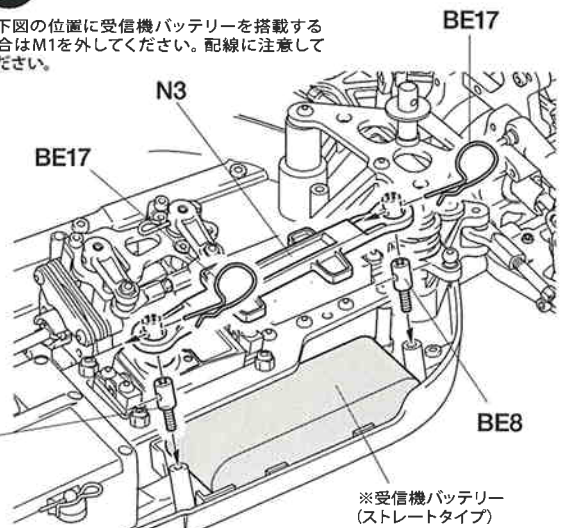
29



30

《※ストレートタイプ受信機バッテリー》

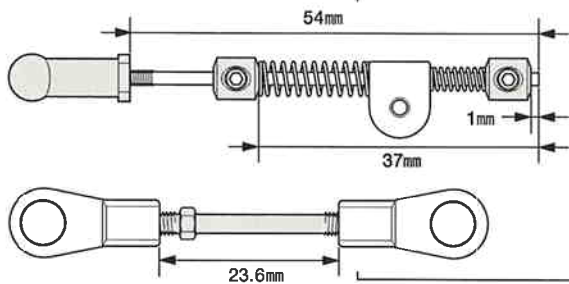
★下図の位置に受信機バッテリーを搭載する場合はM1を外してください。配線に注意してください。



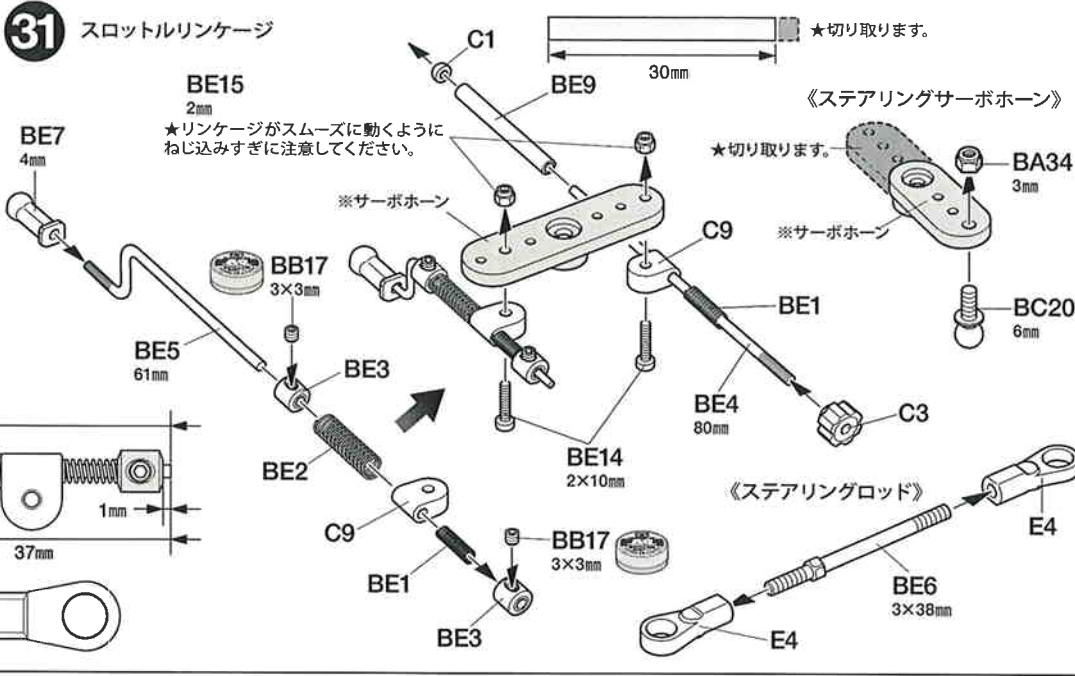
31

★ご使用のRCメカ、エンジンによってスロットルリンケージの取り付けに工夫が必要になる場合があります。リンケージがスムーズに動くように組み立て、取り付けを行ってください。

31 スロットルリンケージ



★ご使用のサーボホーンに合わせて長さを調整してください。



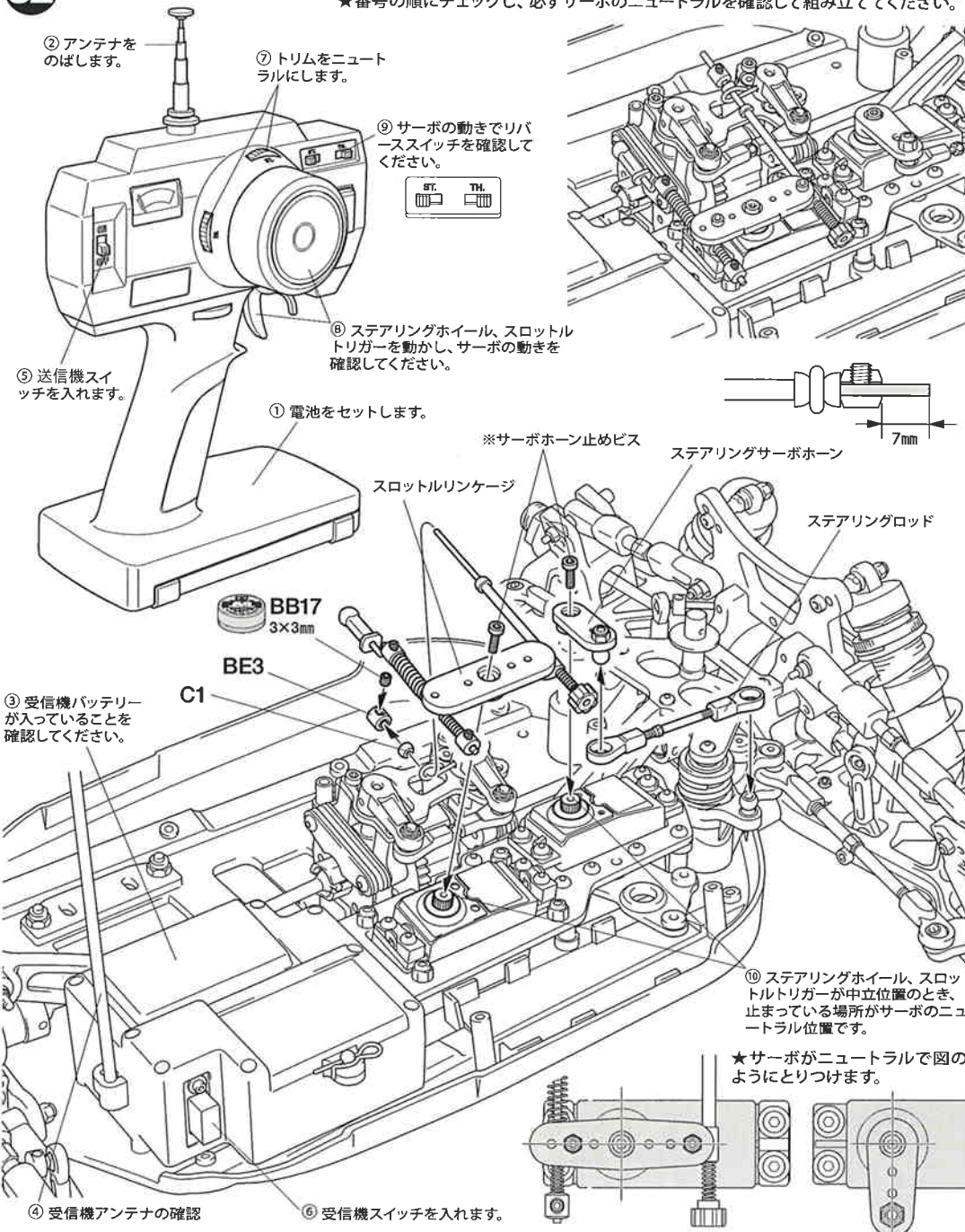
32

★ご使用のプロボセット付属の取扱説明書をよく読んでからお使いください。

32 リンケージの取り付け

RCメカのチェック

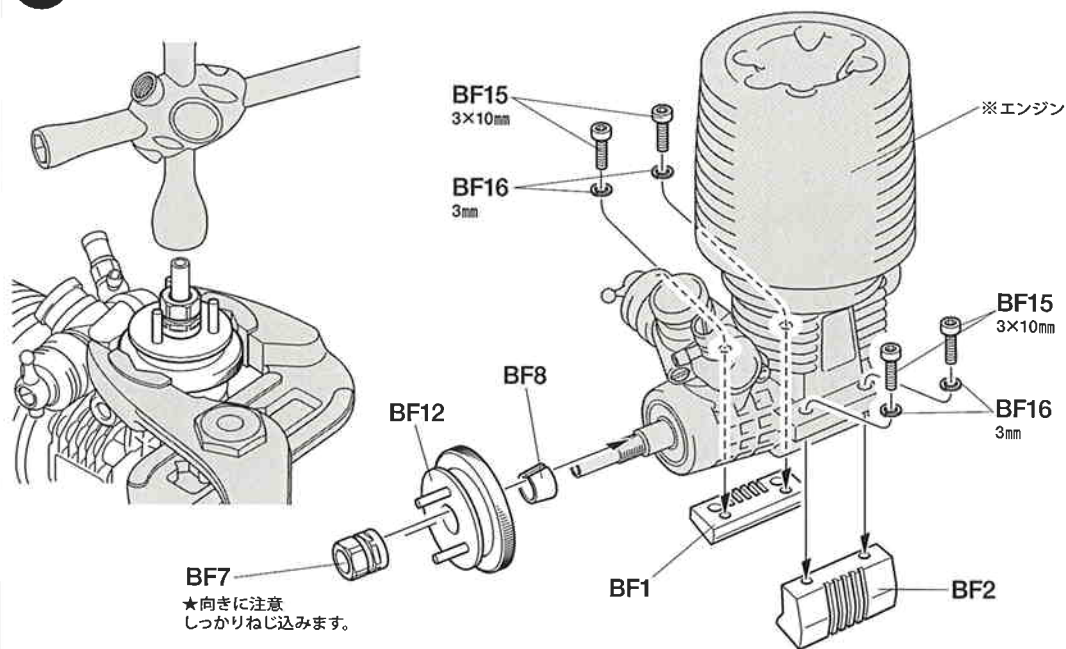
★番号の順にチェックし、必ずサーボのニュートラルを確認して組み立ててください。










★ご使用のエンジン付属の取扱説明書をよく読んでからお使いください。

★フライホイールが緩まないようにパイロットナット (BF7) をしっかりねじ込んでください。

34 フライホイールの取り付け



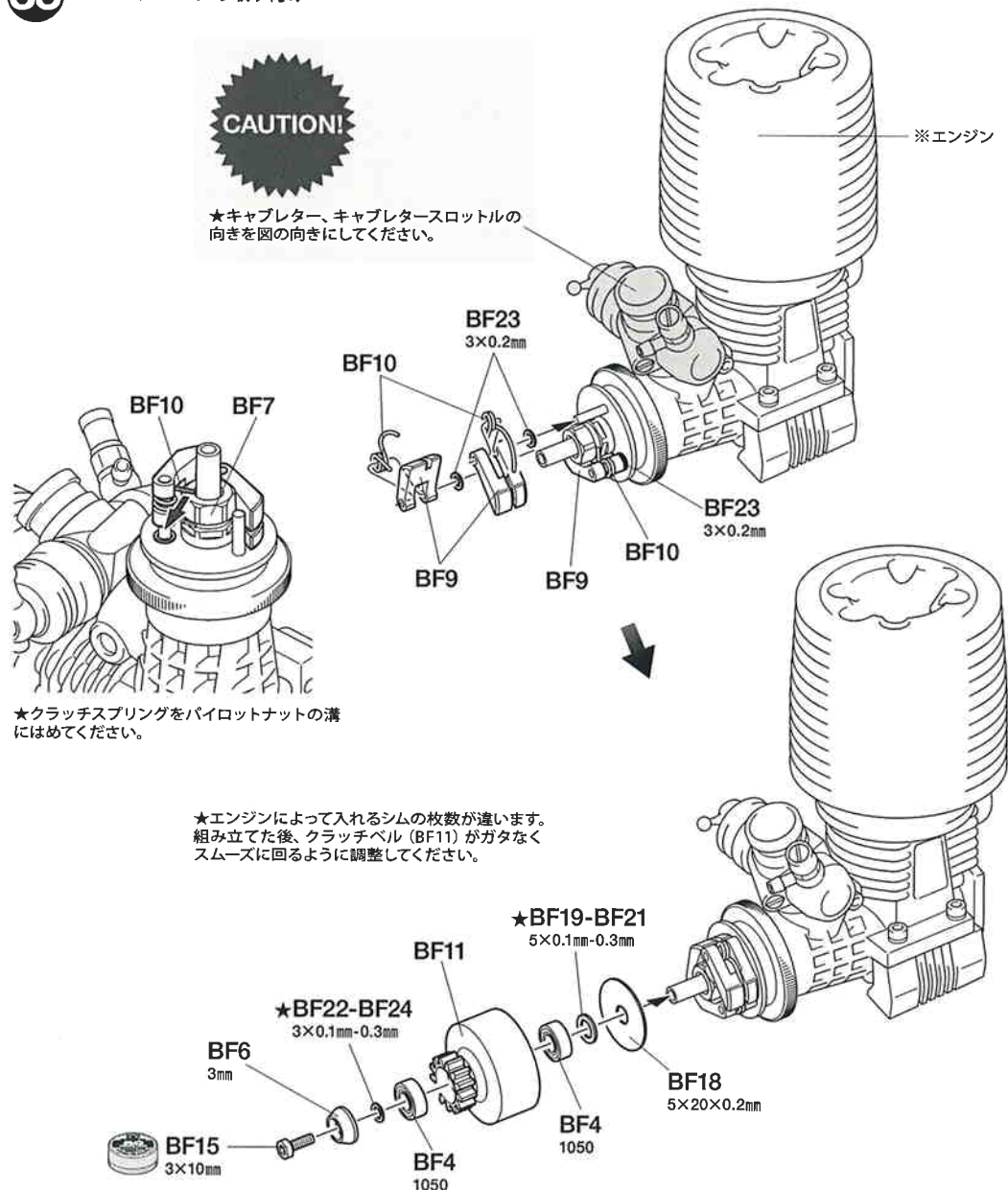
★調整用シム

-  BF17 ×1
5×10×1mm ワッシャー
-  BF19 ×1
5×0.1mm シム
-  BF20 ×1
5×0.2mm シム
-  BF21 ×1
5×0.3mm シム
-  BF22 ×1
3×0.1mm シム
-  BF23 ×1
3×0.2mm シム
-  BF24 ×1
3×0.3mm シム

35 エンジンパーツの取り付け

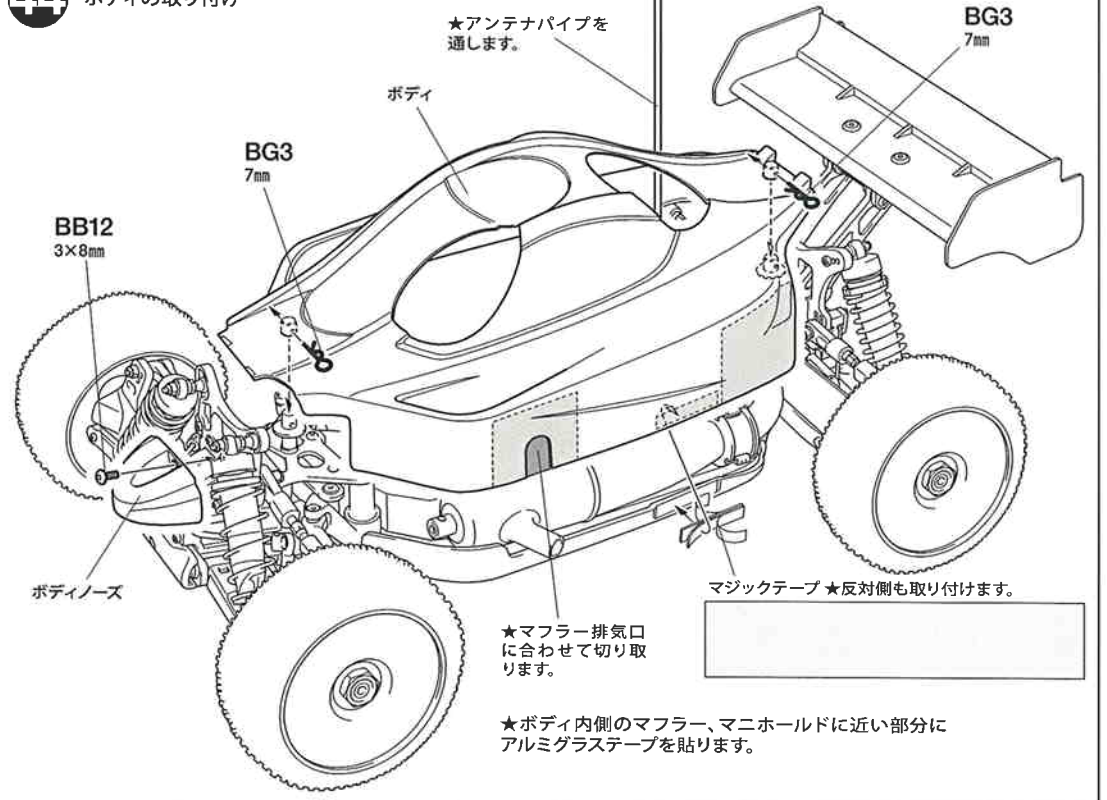
CAUTION!

★キャブレター、キャブレタースロットルの向きを図の向きにしてください。



●タミヤのホームページには豊富な情報が満載です。ぜひご覧ください。
タミヤインターネット
ホームページアドレス

www.tamiya.com



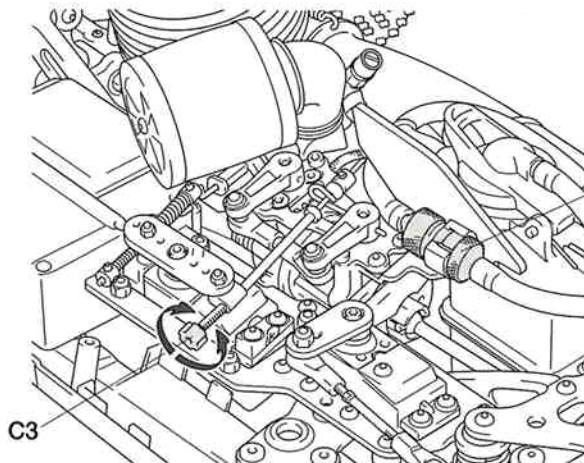
Setting-up

★RCカーはドライバーの操縦の仕方や路面コンディションなどの様々な条件によって、その特性が変わってきます。自分のもっともコントロールしやすいマシンに仕上げていくのがセッティング。組み立て図中に示した各部の寸法やダンパーの調整を基本に、セッティングを進めてください。

●ブレーキの調整

エンジンRCカーは、走行させる上で実車と同じようにブレーキが重要な役目をはたします。エンジン回転をある程度落としてのエンジンブレーキも使えますが、より強力に車を止めるためにディスクブレーキが装備されています。
★エンジンがアイドリング中にはブレーキが作動しないように調整するのが基本です。

★ブレーキリンケージの調整でブレーキの効き具合を調整することが出来ます。C3をしめ込むとブレーキの効き初めが早くなり、逆に緩めるとブレーキの効き初めが遅くなります。

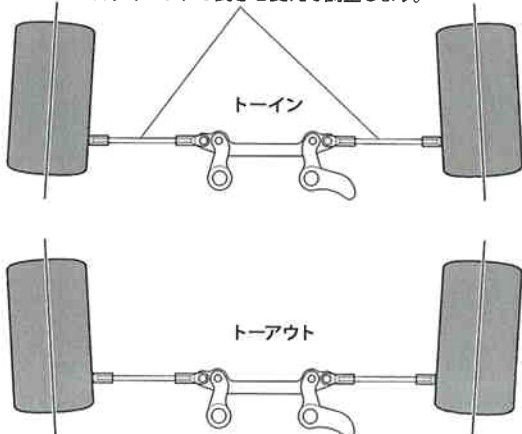


★燃料タンクへの砂やほこりの侵入を防ぐため、燃料フィルターL (GE.81 別売) の取り付けをおすすめします。

●トー角 (トーイン・トーアウト)

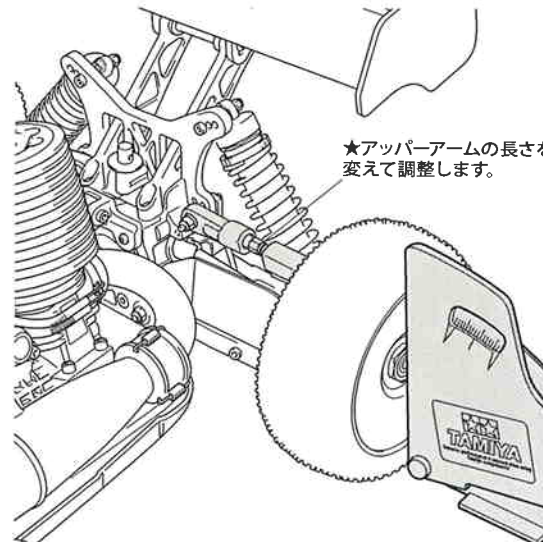
トーインをつけた場合、直進性が良くなり、ステアリングの切り始めの反応がおだやかになります。トーアウトにした場合は、逆にステアリングの反応がシャープになります。ただし、どちらもつけすぎると抵抗になってスピードを低下させたり、アンダーステアやオーバーステアが強くなって操縦しにくいステアリング特性になってしまいます。基本的には、フロントにほんのわずかなトーアウトをつけておくのが良いでしょう。

★タイロッドの長さを変えて調整します。



●キャンバー角

コーナリング中のマシンには遠心力が働くため、車体がコーナーの外側に傾きます。このとき、タイヤにキャンバー角をつけることで接地面積を変え、タイヤのグリップ力を増やしたり減らしたりする事ができます。コーナリング中のグリップを増やすにはネガティブキャンバーに、減らすにはポジティブキャンバーにセッティングします。



ネガティブキャンバー

ポジティブキャンバー

《走行および取扱いの注意》

タミヤのエンジンRCカーは、時速50キロ以上のスピードがあり、引火性の高い燃料を使用します。また、排気音は他の人にとって迷惑な騒音となることがあります。取扱いには十分注意して、安全で他の人の迷惑にならない走行をお楽しみください。

- 人ごみの中や小さな子供のそばでは走らせないでください。
- 道路では絶対に走らせないでください。
- せまい場所や室内では走らせないでください。
- 学校や病院、住宅など排気音が迷惑になるところでは走らせないでください。
- 夜間や早朝は走らせない。
- 火気のあるところでは走らせない。
- 混信に注意してください。モデルが異常な動きをしたら、他の電波の混信により、コントロールが乱されたことが考えられます。すぐに走行をやめ、サーボがステックの動きに従って動くか、確かめてください。
- エンジン本体、マフラー、燃料タンクなどは絶対に改造しないでください。

《走行前の点検・チェック》

- 1 各部のネジに、ゆるみはないでしょうか。特に可動部のビス、ナットに注意します。
- 2 送受信機の電池の容量は不足していませんか。送信機のインジケーターで確認し、不足している場合は電池を取りかえてください。
- 3 ステアリングは左右に確実に動きますか。また車を走らせて直進も調整します。
- 4 キャブレターの調整は確実ですか。アイドルリング状態（ニュートラル）の調整が出来ていないときはエンジンをかけると暴走します。
- 5 ニードルバルブが正しい位置にセットされていますか。ニードルバルブの調整ができていないとエンジンがかかりません。
- 6 マフラー、エアークリーナーが付いていますか。つまりはありませんか。エンジンがかからなかったり、こわす原因になります。
- 7 各パイプがつまっていたり、切れかかっていますか。エンジンがかからなかったり、燃料がこぼれたりしてたいへん危険です。
- 8 グリスアップは確実ですか。ドライブシャフトなどの軸受け部分、サスペンションなどの可動には必ずグリスを塗ります。

《エンジン、燃料の取扱い上の注意》

走行中および走行後、しばらくの間はエンジンやマフラーは非常に熱くなり、やけどの危険があります。また、ギヤやフライホイール、ブレーキディスクなどは高速で回転します。調整中など指を触れないで下さい。ケガをします。

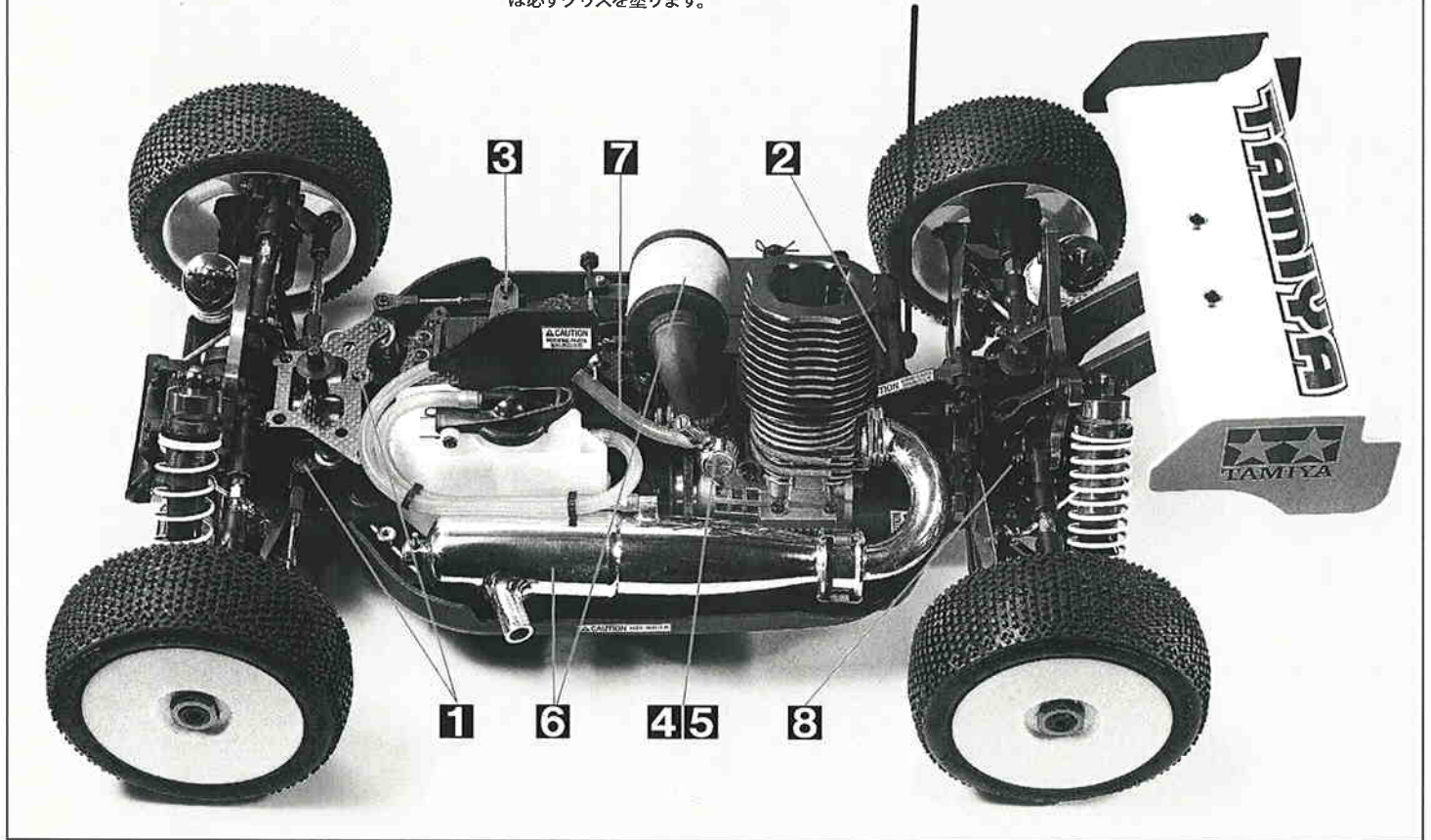
燃料は、タミヤ-TGフューエルなど必ず模型用のグローエンジン専用燃料を使ってください。ガソリンなど他の燃料はエンジンに悪影響を及ぼします。燃料は引火性が高く、揮発性があり、誤って飲んだり、揮発成分を吸い込むのは危険です。取扱いには十分注意してください。

《走行後の整備》

走らせたあとは、必ずモデルの手入れをしましょう。いつまでも性能を保つためにかかせないことです。

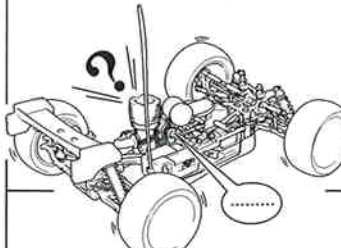
★走行後のエンジン、マフラーはたいへん高温になっています。エンジンが自然に冷えるまで、走行後の整備はまわってください。

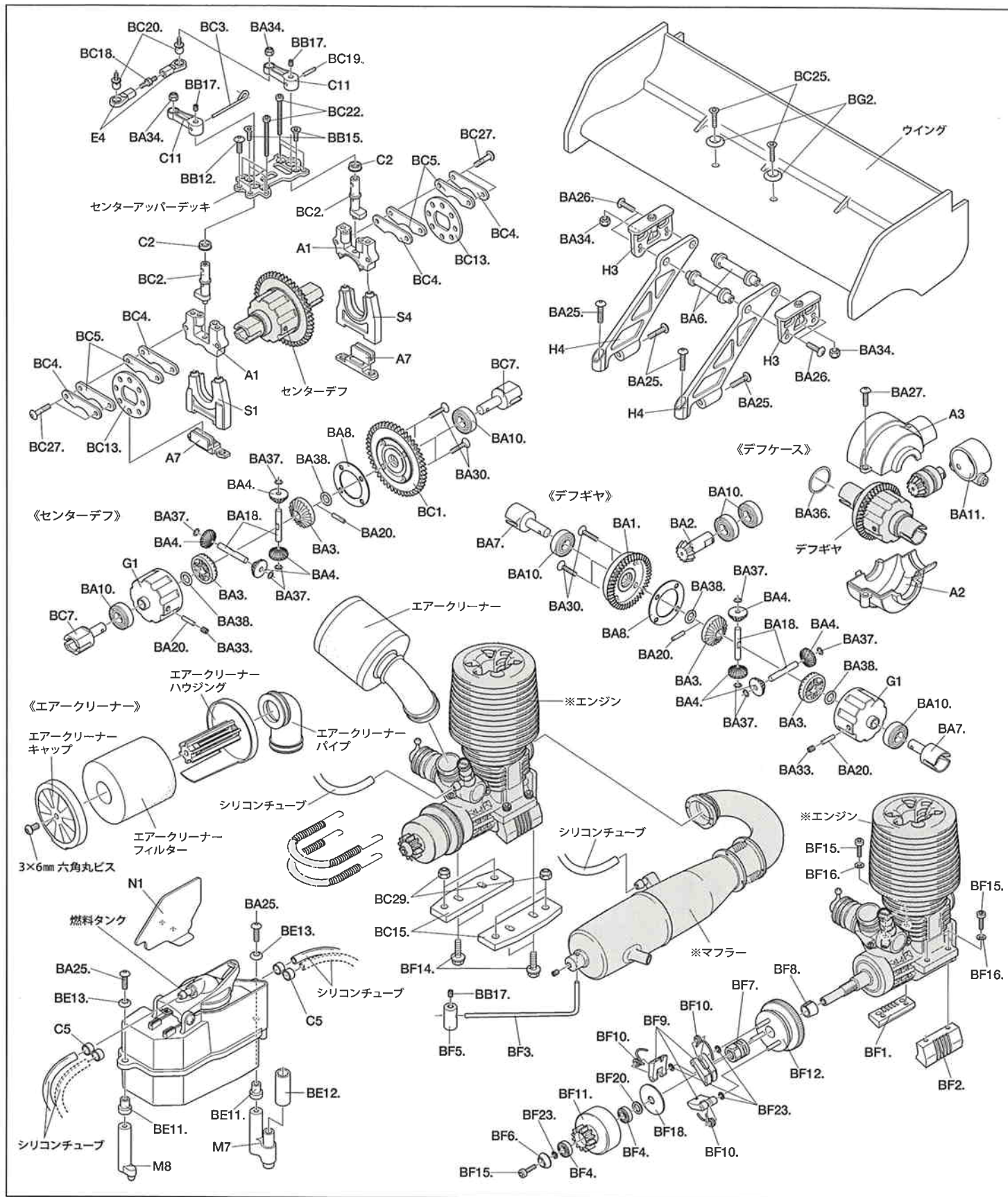
●燃料タンク内に燃料を残さないでください。できれば燃料がなくなるまで、アイドルリング状態でエンジンをかけておくことをおすすめします。



故障かなと思う前のトラブルチェック

★故障かなと思って車（RCカー）を修理に出す前に、下の表を見てもう一度よく調べてください。

車（RCカーの状態）	原因	調べるところと直し方
エンジンがかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●燃料タンクに燃料が入っていない。入っていてもスロットルバルブまでいっていない。 ●プラグが切れている。プラグヒート用電池がへっている。 ●燃料フィルター、マフラー、エアークリーナーがつまっている。 ●オーバーチョーク（エンジン内に燃料が入りすぎている。） ●キャブレターの調整不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクに燃料（模型グローエンジン専用）を入れ、スターターボックスでエンジンを回し、燃料をスロットルバルブまで送る。 ●プラグ、プラグヒート用電池を新しいものに交換する。プラグが赤く発熱するかもチェックする。 ●そうじ点検、または新しいものと交換する。 ●プラグをはずしエンジン内の余分な燃料を出す。プラグが赤く発熱するかもチェックする。 ●ニードルバルブ、アイドル調整ネジを基準の位置に。
エンジンがかかるがすぐに止まる。	<ul style="list-style-type: none"> ●燃料フィルター、マフラー、エアークリーナーがつまっている。 ●オーバーヒート（エンジンが熱をもちすぎて燃料がうすくなるために止まる。） ●キャブレターの調整不良。 ●プレッシャーパイプ、燃料パイプがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●そうじ点検、または新しいものと交換。 ●エンジンを冷やし、ニードルバルブを1/8回転もどす。走行中にエンジンに風があたるように工夫する。 ●ニードルバルブを回し、調整する。 ●パイプをしっかりとりはめる。パイプの切れがないかチェック。
車が思いどおりに走らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●送信機、受信機の電池不足。 ●送信機、受信機のアンテナがしっかりのびていない。 ●サーボリンクエッジのニュートラルがでない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に交換。 ●アンテナをしっかりとばす。 ●各サーボのニュートラルをしっかりと合わせる。



BF20 5×0.2mmシム(10個)	420円 (400円)	90円	OP.587
BF21 5×0.3mmシム(10個)	420円 (400円)	90円	OP.587
BF22 3×0.1mmシム(10個)	420円 (400円)	90円	OP.585
BF23 3×0.2mmシム(10個)	420円 (400円)	90円	OP.585
BF24 3×0.3mmシム(10個)	420円 (400円)	90円	OP.585
マジックテープ	357円 (340円)	—	19400977
BG1 3×6mm六角丸ビス(10本)	378円 (360円)	—	19400973
BG2 3mmロゼットワッシャー(4個)	178円 (170円)	—	19805631
BG3 7mmスナップピン(10本)	210円 (200円)	90円	SP.956
3mm六角レンチ	210円 (200円)	—	12990058
十字レンチ	997円 (950円)	—	19404997
40mmエアークリーナー	945円 (900円)	200円	GE.63
エアークリーナー用フィルター	367円 (350円)	140円	GE.64
エアークリーナーオイル	630円 (600円)	240円	GE.39
セラグリスHG	504円 (480円)	140円	87099
シリコンデフオイル(#5000)	577円 (550円)	200円	OP.759
シリコンデフオイル(#200)	735円 (700円)	240円	OP.443
ネジロック剤	420円 (400円)	140円	OP.1032
ナイロンバンド(10本)	157円 (150円)	80円	OP.595
アルミガラスメッシュステッカー(50×200mm)	420円 (400円)	—	OP.351
ステッカー	1134円 (1,080円)	—	19400976

マスクシール 378円 (360円) — 19400978

OPTION-PARTS

TRF801XT アルミリアアップライト(L,R)	5,250円 (5,000円)	140円	84038
TRF801X セッティングクラッチスプリングセット	525円 (500円)	140円	84045
TRF801X クラッチペダル(15T)	1,680円 (1,600円)	140円	84073
TRF801X 軽量シャーシ	10,080円 (9,600円)	390円	84074
TRF801X アルミブレイス (F,R)	4,200円 (4,000円)	140円	84075
TRF801X チタンコートピストンロッド(フロント2本)	945円 (900円)	140円	84076
TRF801X チタンコートピストンロッド(リア2本)	945円 (900円)	140円	84077
5×50mm チタンターンバックルシャフト(2本)	2,520円 (2,400円)	140円	84078
TRF801X セッティングスプリングセット(フロント)	1,470円 (1,400円)	390円	84090
TRF801X セッティングスプリングセット(リア)	1,575円 (1,500円)	390円	84091
TRF801X スタビライザーセット(フロント)	1,050円 (1,000円)	140円	84092
TRF801X スタビライザーセット(リア)	1,050円 (1,000円)	140円	84093
燃料フィルター-L	945円 (900円)	140円	GE.81

《送料について》送料が表示されている部品は、送料が別に必要です。部品を2個以上ご注文の場合、最も高い送料(1個分)だけで結構です。部品の合計が5,000円を超える場合、送料はサービスとなります。

《住所》〒422-8610 静岡県駿河区恩田原3-7
株式会社タミヤ カスタマーサービス係
 《お問い合わせ電話番号》 静岡 054-283-0003
 東京 03-3899-3765 (静岡へ自動転送)
 営業時間/平日▶8:00~20:00 土、日、祝日▶8:00~17:00
 《カスタマーサービスアドレス》
http://tamiya.com/japan/customer/cs_top.htm

